

火山防災のためのコンピューティングワークショップ

火山防災ハザードマップの作成や、リアルタイムでのハザード評価にコンピュータシミュレーションを用いる必要性は古くから叫ばれてきました。近年、様々な実用的コードの公開や、数値地図情報の一般化、コンピュータ環境の向上によって、火山地質学者がこうしたことに容易に取り組める素地が出来つつあります。

本ワークショップではこうした潮流を踏まえて、参加者自身のノートパソコン上で Tephra2, VHub, Titan2D, QGIS, PUFF などの利用を可能にすることを目的とします。またこれらの運用に必要な地形等のデータを無料で入手し、加工する方法を習得します。

研究や業務でこれらのソフトウェアを使いたい、インストールが出来ない、インストールはしたが使い方がわからない、使っているけど使い方に自信がないなどの悩みを抱える初心者を迎えます。

【主催】 日本火山学会

【日程】 2014年10月10日～13日（4日間）

【場所】 日本大学文理学部図書館・オーバルホール

【定員】 30名（先着順により受け付けます。原則として火山学会員に限りませんが大学生・大学院生の参加も認めます）

【カリキュラム】

- 1日目 13:00~17:00 Linux 環境の整備と各種ソフトインストール
講義、実習で用いる環境とソフトウェア（GMT, Tephra2, QGIS, TITAN2D, PUFF など）を整備します。ご自身の PC、Mac をご持参ください。すでにインストールされている場合、1日目は参加されなくても構いません。
- 2日目 10:00~17:00 講演
Tephra2, VHub, QGIS, Titan2D などの概要。無料データのダウンロードと加工。
- 3日目 10:00~17:00 参加者の PC を利用した実習
一般的な利用法を確認した後、各自の研究や業務の課題に向けた利用法を検討します。
- 4日目 10:00~15:00 参加者の PC を利用した実習
一般的な利用法を確認した後、各自の研究や業務の課題に向けた利用法を検討します。

講師： 宝田晋治（産業技術総合研究所）・常松佳恵（山梨県富士山科学研究所）・
佐々木寿（アジア航測）・清杉孝司（東京大学地震研究所）・
萬年一剛（神奈川県温泉地学研究所）

参加申込み：ワークショップ実行委員（kazansimulation@gmail.com）宛に9月19日までにメールでお伝えください。このとき併せて習得したいソフトウェアについてもご連絡下さい。なお、宿泊の用意は各自でお願いします。

会場に関する問い合わせ先：金丸龍夫（kanamaru.tatsuo@nihon-u.ac.jp）